



第28回 東京都5年生サッカー大会 要項

<大会趣旨>

- ・ 少年サッカーの育成と発展を目指し、特に5年生期における技術、戦術、マナー、そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。
- ・ 8人制の試合をすることにより、「判断」へのアプローチ場面を多くし、いろいろなポジションを経験しながら個々の「技術」の質を高める。
- ・ 選手育成を第一と考え、多くの選手に試合経験を与えることとする。

1. 主 催 (公財)東京都サッカー協会 東京都少年サッカー連盟

2. 共 催 東京新聞・東京中日スポーツ

3. 主 管 東京都少年サッカー連盟

4. 後 援 東京都信用農業協同組合連合会

全国農業協同組合連合会 東京都本部

全国共済農業協同組合連合会 東京都本部

5. 協 賛 マインズ農業協同組合

6. 期 日 ブロック大会 2016年 8月 1日(月)～ 9月19日(祝)

中央大会 2016年10月8日(土) 9日(日)10日(祝)

7. 会 場 ブロック大会 1～16ブロック内グランド

中央大会 朝日サッカー場・府中市少年サッカー場

8. 参加資格

- (1) 2015年度(公財)日本サッカー協会第4種に登録した団体より1チームの参加。
- (2) 上記チームに所属する選手であり、本協会の登録選手証を有する選手証が発行されてない時期に公式戦に参加する際はWeb登録の承認済みの写しを代用する。
- (3) 年間を通してスポーツ保険に加入していること。
- (4) 小学校5年生以下で編成されたチーム。
ただし3年生以下の選手を含める場合は選手の健康・体格・体力・技能等を十分に考慮しチームの責任において出場させること。
- (5)引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある成人の指導者であること。内1名以上が本協会公認コーチ資格D級コーチ以上及び公認キッズリーダー・ブロック指導者講習会受講者。

9. 試合方法 トーナメント、及びリーグ戦等で行う。

10. 競技規則

(1)試合は、実施年度「サッカー競技規則および「8人制サッカールール」に準じる。

ただし、本大会要項に定められた事項が優先する。

(2)8人制とする。試合方法・形式は各ブロックに一任する。

(3)競技時間は、各ブロックに一任する。

(4)試合ごとに、登録選手全員が隨時、自由に交代することができる。

フィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合となる。

(5)コートの広さは、各ブロックに一任する。

(6)ゴールは、少年用ゴールを使用する。

(7)本大会の試合中、退場処分を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。

(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)

次の試合はその選手を除いた8名で行う。

(8)試合球は4号ボールとする。

(9)8人制の審判は一人の主審と一人の補助審判(必須)で行う。

11. 大会参加費 5,000円

J A 東京カップ 中央大会実施要項

- 1 日 程 2016年10月 8日（土）トーナメント1, 2回戦
9日（日）予選4チームリーグ
10日（月）8チームの決勝トーナメント
◆ 開会式 8日に試合のある全チーム参加。選手宣誓（15）ブロック
- 2 会 場 朝日サッカー場
3 協 力 府中YSS
4 参加チーム 各ブロック予選での上位より推薦する、合計48チーム。
5 競技規則
(1) 試合は、実施年度「サッカー競技規則および「8人制サッカールール」に準じる。
(2) 競技時間は予選36分（前半後半各12分）とする。
(3) 競技は8人制とし、常に両チームとも8人の競技者で試合を行う。（試合開始時に8人が必要）一方のチームがフィールド上に8人の競技者がいない場合、試合は参考試合とする。
ただし、主審の承認を得て、用具を正すまたは負傷の処置で一時的に、8人未満の場合はその限りではない。
なお、すみやかに復帰または交代して、8人の競技者にするものとする。
競技者が退場を命じられた場合は、交代要員の中から即、競技者を補充することができる。
主審は競技者の補充が行われようとしている間は、試合を停止する。
交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。
交代手続きは主審に通知する必要はないが、ゴールキーパーの交代はボールアウトオブプレー中に主審に通知する。
(4) 8人制の審判は一人の主審と一人の補助審判（必須）で行う。
(5) キックオフから直接相手のゴールに入った場合は、相手にゴールキックが与えられる。
(6) 試合は3チームによるリーグ戦を行い、1位チームによる決勝トーナメント戦とする。
(7) 第1、第2ピリオドは総入れ替えをすること。第3ピリオドのみ自由な交代とする。
負傷者がいる場合は選手を補充して良い。ただし、同一選手の出場は2ピリオドまでとし、3ピリオドで全てに出場することはできない。
延長戦については前後半同一選手の出場ができる。
(8) 試合ごとに、登録選手全員が隨時、自由に交代ができる。そのために交代ゾーンを設ける。但し、ゴールキーパーの交代はアウトオブプレー中に、主審に通知する。
(9) リーグ戦の順位 ①勝点 ②得失点差 ③総得点 ④当該チームの直接対決 ⑤抽選
(勝点3 引き分け1 負け0)
トーナメント戦で同点の場合3人ずつのPK方式。決勝戦は前後半5分間の延長戦を行う。ただし、延長戦でも勝敗が決まらないときはPK方式とする。
(10) コートの広さは、68m×50mを基本とする。
(11) 本大会の試合中、退場処分を受けたものは、次の試合1試合に出場できない。
(警告回数が2に達した場合も同処置とする。)
次の試合はその選手を除いた8名で行う。
(12) ユニフォーム（正副）2着のメンバー表と一緒に提出する。
ユニフォームについて、日本サッカー協会「ユニフォーム規程」及び「各大会要項」による。
- 6 表 彰
・優勝 優勝盾・賞状・個人メダル
・準優勝 準優勝盾・賞状・個人メダル
・第3位 第3位盾・賞状・個人メダル
・第4位 敢闘賞・賞状
・優秀選手 20名の優秀選手を選考し表彰する。
- 7 その他
・ハンドブック記載の中央大会参加に関する要件を厳守する。大会方法、時間関係、会場関係等を、大会当日会場にくる指導者、保護者、選手、関係者に徹底する。
・大会期間中の事故については応急処置を行うが、それ以後の対応についてはチームが各自加入しているスポーツ保険などで処理する。特に見学、応援などに来る保護者などの事故については自己責任を確認させ、からず了承を得ること。